

1. 科目名 (単位数)	暮らしと経済 (2単位)		3. 科目番号	SBMP1118						
2. 授業担当教員	小島 崇志									
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション(学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等)を伴ったものにする。		5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	必修科目につき履修条件はありません。									
7. 講義概要	日常、テレビや新聞で見聞きする、我々の身近な生活を取り巻く経済問題を、経済学的な観点から考察する。またそれらの経済問題を題材にして、経済学的なものの考え方を身につける。経済問題や経済学という何かとつきにくく、縁遠い感覚を覚えるかもしれないが、実際には、意外とシンプルで、いったん身につけてしまうと、今後の社会生活を営んで行く中でも非常に便利なツールとなることがわかる。この講義を通じて、その生きていく上で有効なツールとしての経済学的な考え方が自然と身につくことを目指す。また、これまでなんとなく気になっていたにも関わらず未理解だった経済問題に整理をつけていくことを目指す。今回は日本経済を中心に学習する。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在、日本経済でどのようなことが起こり、問題になっているかを認識する。</li> <li>2. 現在の日本を取り巻く経済問題を経済学の枠組みでとらえ直す。</li> <li>3. 経済学(ミクロ経済学、マクロ経済学)の基本的な考え方を身につける。</li> <li>4. 数式やグラフを通じて物事を整理するという習慣を身につける。</li> <li>5. 今後、日本や世界で展開する経済問題に関心をもてるようにする。</li> </ol>									
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	事前学習、事後学習に加えてアサインメントを課します。レポート課題もあります(下記のとおり評定に含まれます)。									
10. 教科書・参考書・教材	教科書:宮川 努・細野 薫・細谷 圭・川上 淳之『日本経済論(第2版)』中央経済社、2021年。 参考書は授業時に挙げ、教材は必要に応じて配付します。									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本経済に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。</li> <li>2. 経済学的な思考が身についたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験</td> <td>総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table>				1 授業への積極的参加	総合点の20%	2 期末試験	総合点の50%	3 課題レポート	総合点の30%
1 授業への積極的参加	総合点の20%									
2 期末試験	総合点の50%									
3 課題レポート	総合点の30%									
12. 受講生へのメッセージ										
13. オフィスアワー	別途通知する。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	はじめに	事前学習	教科書 pp. 1-4 を読んでください。							
		事後学習	授業内で決めます (pp. 1-4)。							
第2回	日本経済論への招待	事前学習	授業内で決めます (pp. 10-23)。							
		事後学習	『経済財政白書』などに関する課題を与えません (pp. 10-23)。							
第3回	日本経済論への招待 (2) Working	事前学習	『経済財政白書』などに関する課題を与えません (pp. 10-23)。							
		事後学習	授業内で決めます (pp. 10-23)。							
第4回	高度成長はなぜ実現できたのか	事前学習	授業内で決めます (pp. 24-39)。							
		事後学習	高度成長などに関する課題を与えます (pp. 24-39)。							
第5回	高度成長はなぜ実現できたのか (2) Working	事前学習	高度成長などに関する課題を与えます (pp. 24-39)。							
		事後学習	授業内で決めます (pp. 24-39)。							
第6回	バブルとその後の長期停滞	事前学習	授業内で決めます (pp. 40-58)。							
		事後学習	資産価格のバブルとその崩壊などに関する課題を与えます (pp. 40-58)。							
第7回	バブルとその後の長期停滞 (2) Working	事前学習	資産価格のバブルとその崩壊などに関する課題を与えます (pp. 40-58)。							
		事後学習	授業内で決めます (pp. 40-58)。							
第8回	労働市場の構造変化と所得格差	事前学習	授業内で決めます (pp. 59-73)。							
		事後学習	完全失業率などに関する課題を与えます (pp. 59-73)。							

第9回	労働市場の構造変化と所得格差 (2) Working	事前学習	完全失業率などに関する課題を与えます (pp. 59-73)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 59-73)。
第10回	中小企業・ベンチャー企業の役割	事前学習	授業内で決めます (pp. 74-91)。
		事後学習	新しい事業所などに関する課題を与えます (pp. 74-91)。
第11回	中小企業・ベンチャー企業の役割 (2) Working	事前学習	新しい事業所などに関する課題を与えます (pp. 74-91)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 74-91)。
第12回	産業構造の変化と日本経済の盛衰	事前学習	授業内で決めます (pp. 92-104)。
		事後学習	産業分類などに関する課題を与えます (pp. 92-104)。
第13回	産業構造の変化と日本経済の盛衰 (2) Working	事前学習	産業分類などに関する課題を与えます (pp. 92-104)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 92-104)。
第14回	環境・エネルギー問題の克服	事前学習	授業内で決めます (pp. 105-122)。
		事後学習	地球温暖化などに関する課題を与えます (pp. 105-122)。
第15回	環境・エネルギー問題の克服 (2) Working	事前学習	地球温暖化などに関する課題を与えます (pp. 105-122)。
		事後学習	授業内で決めます (pp. 1-122)。
期末試験			